

危険

WBGT 31以上
気温35°C以上

厳重警戒

WBGT 28以上31未満
気温31~35°C

警戒

WBGT 25以上28未満
気温28~31°C

注意

WBGT 21以上25未満
気温24~28°C

暑さ指数(WBGT)とは?

WBGT(湿球黒球温度)

Wet Bulb Globe Temperature

暑さ指数(WBGT)は、熱中症を予防することを目的として提案された指標です。暑さ指数(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしや)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

熱中症特別警戒アラート・

熱中症警戒アラートとは?

熱中症特別警戒アラート等は、WBGTが一定の基準を超えた場合に発表されます。WBGTの予測値が、すべての観測地点で35以上の場合は「熱中症特別警戒アラート」が、県内観測地点のいずれかで33以上の場合は「熱中症警戒アラート」が発表されます。

熱中症特別警戒アラート等の情報は以下のサイトから入手できます。

環境省熱中症予防情報サイト



栃木県気候変動適応センター

公式 X



熱中症の応急処置



涼しい場所へ避難し、
服をゆるめ体を冷やす



水分・塩分を補給する



安静にして
十分に休息をとる



意識がない場合は
直ちに救急車を呼びましょう

お問い合わせ

栃木県気候変動適応センター
(事務局・栃木県環境森林部気候変動対策課)

栃木県保健福祉部健康増進課

TEL 028-623-3187

E-Mail tochi_tekiou@pref.tochigi.lg.jp

TEL 028-623-3094

E-Mail kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp

わたしはできています。
熱中症対策。



栃木県 热中症対策リーフレット

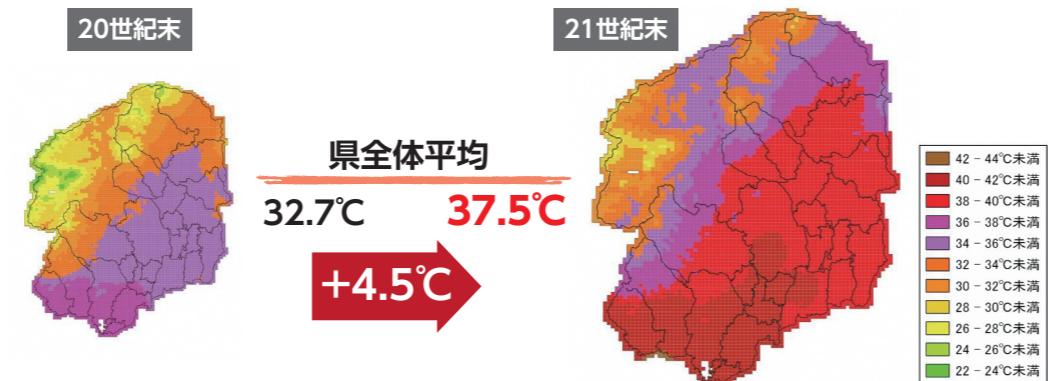
近年、地球温暖化による気候変動の影響は、私たちの暮らしの様々なところに現れています。例えば、気温の上昇による「熱中症」の搬送者数の増加もその一つです。

今後も、気温は上昇することが予想され、地域によっては最高気温は40℃を超える真夏日が3ヶ月以上観測される可能性*があります(右図)。

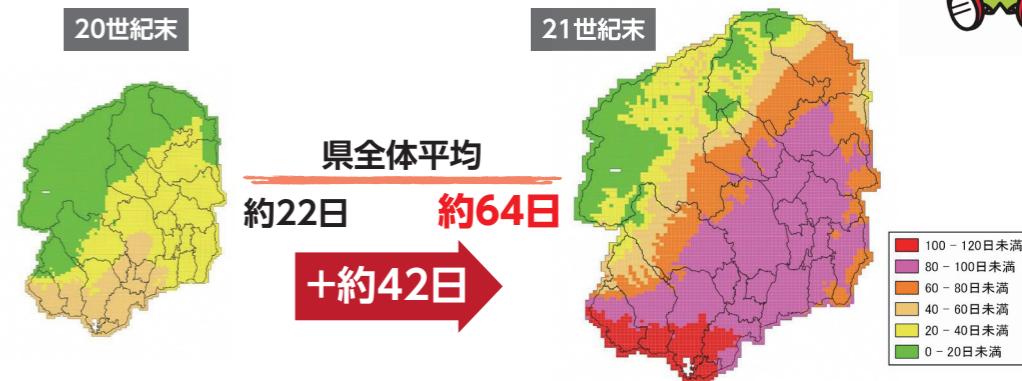
*有効な温暖化対策を講じない場合



⚠ 最高気温が40℃を超える!?



⚠ 真夏日が3ヶ月を超える!?

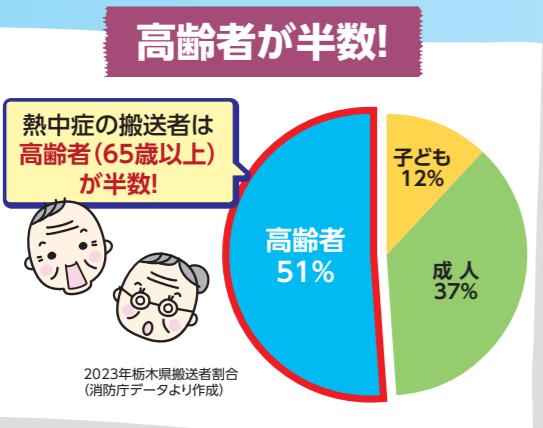


(出典: 栃木県第二次気候変動影響評価報告書)

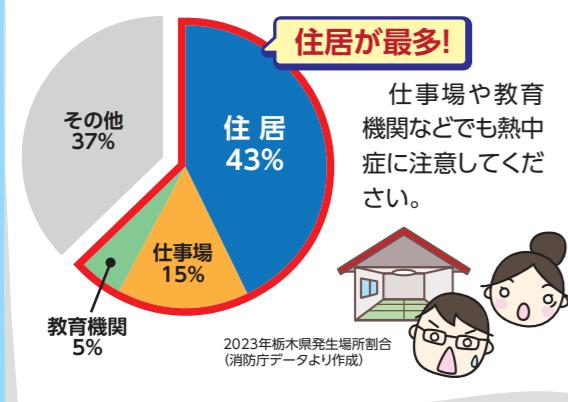
👉 今後、気候変動による気温の上昇が予測される中、今まで以上に「熱中症」リスクが高まります!

4つの「現状」

高齢者が半数!



住居での発生が多い!



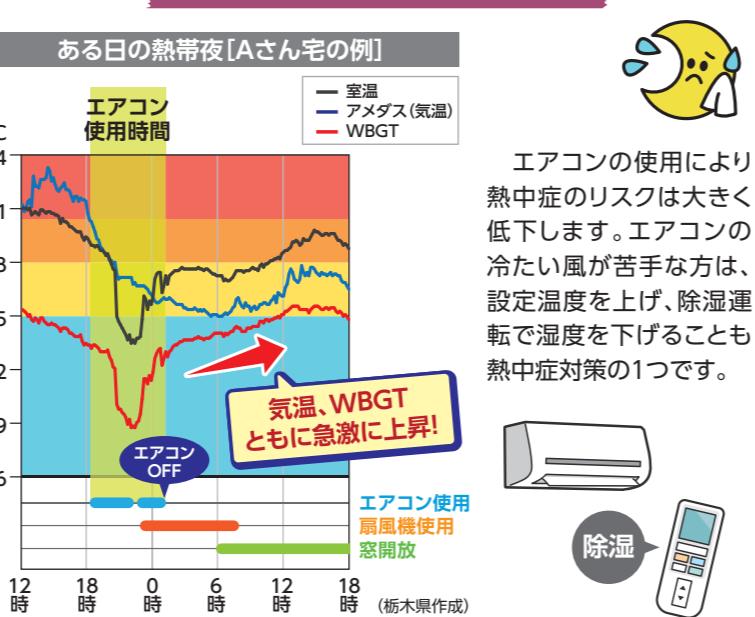
梅雨明け直後の高湿度+高温に注意!

梅雨明け直後に搬送者数が激増する傾向にあります!
体がまだ暑さに慣れていない中、この時期は一気に高温多湿な天候に変化するので、熱中症になる危険性が高まります。



夜間も油断は禁物!

ある日の熱帯夜[Aさん宅の例]



エアコンの使用により熱中症のリスクは大きく低下します。エアコンの冷たい風が苦手な方は、設定温度を上げ、除湿運転で湿度を下げることも熱中症対策の一つです。



5つの「行動」

Action 1 エアコンの使用



熱中症は室内でも多く発生しています。日中だけではなく夜間も注意が必要です!

Action 2 こまめな水分補給



就寝前も水分補給を!汗をかいたら塩分補給も!

Action 3 日傘・帽子の着用



冷却グッズなども活用し、涼しく過ごす工夫をしましょう!

Action 4 暑さに備えた体づくり



(日頃から)軽い運動や入浴で発汗機能を高め、体温調節できる上手な汗をかく準備をしましょう!

Action 5 熱中症特別警戒アラート・熱中症警戒アラート*を活用しましょう!

熱中症特別警戒アラート等発表時は熱中症予防行動を取りましょう!

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。発表時以外でも、暑いと感じたときは不要不急の外出は控えましょう。※詳しくは裏面へ

高齢者・子どもは特に熱中症になりやすいので周囲からの声かけをお願いします

